

学生部セミナー「ベトナムに行こう」

寄稿

館 春菜(経営4)

学生部セミナー「ベトナムに行こう」が3月1日から10日まで行われ、学生12人と引率の阿藤正道学生部長(商学部教授)らがベトナムの首都ハノイなどを訪れた。

学生らは、専修大学の国際交流指定校であるベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学(以下ハノイ校)で日本語を勉強する学生と交流しながらベトナム語の研修を受け、ホームステイを体験した。充実した10日間を、館春菜さん(経営4)に振り返ってもらった。

ハノイ校学生と交流 おもてなしに感激



今年度専大に留学中のスアンさん(左)と。滞在中、さまざまなサポートをしてくれた。



ホームステイ先で伝統の生春巻き作り。床に雑誌を敷いて座った。



ハノイ市内、圧巻のバイク量

と期待の半々の気持ちでいた。最初のショックな出来事は空気があった。排ガスを1カ月分一気に吸った気分になった。バイク社会だと聞いていたが想像以上だった。青空は空を見て「今日はいいい天気だね」と言われたとき、は、感覚も違うのだなと感じた。

サポートをしてくれた。ベトナムの友人も駆けつけてくれた。帰国の際、夜の便だったにもかかわらず、滞在中仲良くなった友人の何人かが空港まで見送りに来てくれた。

ベトナムでの経験を振り返り、私は「当たり前」はどこに行っても当たり前ではないという考えを持ち、何より人の温かさに触れた。そして「興味のあった国」だったベトナムが、私の「好きな国」に変わった。これからも縁を大切に、交流を深めていきたい。

今年度長期交換留学の8人決定。2017年度長期交換留学プログラム(第2期・英語圏)の留学生に8人が決まった。写真。オレゴン大学(米)、6月5日(18年3月)に3人、ネブラスカ大学リンカーン校(同、5月から1年間)に3人。

今年度長期交換留学の8人決定。2017年度長期交換留学プログラム(第2期・英語圏)の留学生に8人が決まった。写真。オレゴン大学(米)、6月5日(18年3月)に3人、ネブラスカ大学リンカーン校(同、5月から1年間)に3人。

長野県知事 所部守一



長野県は雄大な山々、豊かな森林、清らかな水など四季の変化に富んだ自然環境に恵まれ、スキー場や温泉、山岳高原リゾートといった数多くの観光資源を有する全国屈指の山岳観光県です。東京、名古屋、大阪の三大都市圏に近く、高速交通網も整備されており、世界的な競争力を誇る「ものづくり産業」、移住専門誌の「移住したる」の「ものづくり産業」の強みを活かして、県民の就業率、人と人の強い絆、地域の多様性など、首都圏での長野県への就職活動の利便性を高めていきます。

「志と情熱」ある人來たれ! 「信州創生」の柱の「人生を楽しむことができる働き方・暮らし方」を実現していくのが、「信州創生」の柱のひとつです。そのために、就業率、人と人の強い絆、地域の多様性など、首都圏での長野県への就職活動の利便性を高めていきます。

「人生を楽しむことができる働き方・暮らし方」を実現していくのが、「信州創生」の柱のひとつです。そのために、就業率、人と人の強い絆、地域の多様性など、首都圏での長野県への就職活動の利便性を高めていきます。

「人生を楽しむことができる働き方・暮らし方」を実現していくのが、「信州創生」の柱のひとつです。そのために、就業率、人と人の強い絆、地域の多様性など、首都圏での長野県への就職活動の利便性を高めていきます。

三大都市圏に近く、高速交通網も整備されており、世界的な競争力を誇る「ものづくり産業」、移住専門誌の「移住したる」の「ものづくり産業」の強みを活かして、県民の就業率、人と人の強い絆、地域の多様性など、首都圏での長野県への就職活動の利便性を高めていきます。

【ジョブカフェ信州銀座サテライト】 <https://select-type.com/rsv/?id=mutw2KCHV68>
【就活支援ポータルサイト「シューカツNAGANO」】 <https://www.shukatsu-nagano.jp/>

就職活動中の4年次生へ 「内定キープ」は禁物

就職課から

早くも内定を得た学生もいることでしょう。中には2社以上から内定を得て迷うケースもあるかと思いますが、大切なこととは「内定キープ」の状態にしないことです。内定を複数得ても入社するのは1社です。内定を保持したまま時間が過ぎることは、皆さんにとって悪影響を及ぼす可能性があります。辞退をしない学生は、原則として「お詫びに行く」ことを念頭において行動してください。

持したまま時間が過ぎることは、皆さんにとって悪影響を及ぼす可能性があります。辞退をしない学生は、原則として「お詫びに行く」ことを念頭において行動してください。

持したまま時間が過ぎることは、皆さんにとって悪影響を及ぼす可能性があります。辞退をしない学生は、原則として「お詫びに行く」ことを念頭において行動してください。

持したまま時間が過ぎることは、皆さんにとって悪影響を及ぼす可能性があります。辞退をしない学生は、原則として「お詫びに行く」ことを念頭において行動してください。

持したまま時間が過ぎることは、皆さんにとって悪影響を及ぼす可能性があります。辞退をしない学生は、原則として「お詫びに行く」ことを念頭において行動してください。

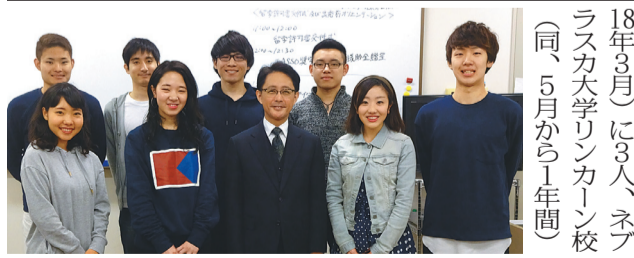


グループワークでポスターを製作

新入留学生の合宿オリエンテーション開催

4月8、9の両日「新入留学生のための合宿オリエンテーション」が本学の伊勢原セミナーハウスで行われた。

国際交流センター委員の各学部教員、国際交流事務課職員、先輩留学生や国際交流会の学生も参加して、査証についての説明や、学業・生活面でのアドバイスなどを行った。教職員や各国の学生、新入生が交じったグループワークでは「異なる価値観をもつ人と人間関係を築くために大切な



今年度長期交換留学の8人決定。2017年度長期交換留学プログラム(第2期・英語圏)の留学生に8人が決まった。写真。オレゴン大学(米)、6月5日(18年3月)に3人、ネブラスカ大学リンカーン校(同、5月から1年間)に3人。

今年度長期交換留学の8人決定。2017年度長期交換留学プログラム(第2期・英語圏)の留学生に8人が決まった。写真。オレゴン大学(米)、6月5日(18年3月)に3人、ネブラスカ大学リンカーン校(同、5月から1年間)に3人。

今年度長期交換留学の8人決定。2017年度長期交換留学プログラム(第2期・英語圏)の留学生に8人が決まった。写真。オレゴン大学(米)、6月5日(18年3月)に3人、ネブラスカ大学リンカーン校(同、5月から1年間)に3人。